地域コミュニケーション紙　2013年8月10日　13,000部発行

# しお風

「しお風」は、住民が主役の『共育のまちづくり』を進めることが夢。
住民一人ひとりの想いを大切にしながら、それぞれが自分のできることで協力し、つながっていく町へ。
住民の輝きが町の魅力、にぎわいを促すまちづくり活動を13年近く続けています。

SEISA GROUP
星槎中学高等学校
星槎国際高等学校
星槎学園　湘南校
中等部・高等部
中学高校学校見学随時
二宮町二宮1352-4
TEL0463（71）0991
星槎大学 教育・環境・国際関係 教員免許取得
特別支援教育について専門的に学べます!!
http://www.seisa.ac.jp

発行　まちづくり工房「しお風」
責任者　神保智子 ☎090-3142-9358
ホームページ　http://www.scn-net.ne.jp/~shiokaze
メールアドレス　shiokaze@mj.scn-net.ne.jp

## 二宮が輝く残されたチャンスをつかもう！
## 住民力の結集と連携で東大二宮果樹園跡地の再生を。

「将来の二宮町の活性化に大きく結びつく」と二宮町は計画白紙のまま東大二宮果樹園跡地を四億五千万円で取得しました。しかし、町財政が非常に厳しく五年位は整備に着手することができません。来年度からは跡地を賃貸する予定です。

この暫定賃貸期間を協働のまちづくり実現の機会と捉え、町民・民間が参入し、住民力の結集と町内外との連携で町民の幸福度を高める跡地再生を期待します。

東大二宮果樹園跡地

### ★これまでの経緯

昨年三月議会で約三万七千㎡の東大果樹園跡地を四億五千万円で土地取得することが決定。その後跡地の一部から水銀と鉛が検出されたので、東大が除染対策を行い、今年から町の所有地になりました。

跡地活用の意見募集を昨年六月から九月に実施。十一月には「東京大学果樹園跡地活用等検討委員会」が発足し、今年七月までに六回審議。そして、七月二十七日にボランティアによる草刈りが実施されました。

### ★非常に厳しい町財政

平成二十一年度から二十三年度にかけて、厳しい財政状況の中で二十億八千万円のラディアン裏の土地取得や四億五千万円の東大果樹園跡地購入等の大規模投資を重ねた結果、目的外使用ができない基金にまで手をつけてしまいました。

手をつけた八つの基金は、条例により災害対策、緑保全、環境整備などの目的をもって長年にわたり少しずつ積み立てられてきた大切な現金なのです。二宮町財政は身動きのとれない大変な状況に追い込まれています。さらに、ゴミ処理広域化に伴う多額な費用（今年度は広域化推進に約一億六千万円、剪定枝資源化整備の生活環境影響調査と土地取得に約三億）がかかります。

反対に税収は下がり、来年度は県住宅供給公社の土地払い下げやKDDIの撤退による固定資産税の大幅な減収も予想されます。

### ★許されない！風致公園の二の舞

ラディアン裏の土地は、県住宅供給公社から買い取り申し入れ期限が来たからときちんとした将来計画もないまま購入し、国の補助金がつくという理由で風致公園としました。

風致公園基本計画には、「住民の生活に暮らしに直結する経済的な活性化や豊かさの実感をはじめ他地域の人々に本町を知ってもらうための様々な受発信をする場としても活用されなくてはならない（中略）秋の集客を目的とした整備を行う事で年間を通した本町への観光客の誘致が図られる」と記載されています。整備完了は来年度ですが、そんな実感やきざしはまったくありません。

風致公園は将来ビジョンに基づいた計画や戦略もなく約二十億かけて取得し、たまたま話のあった所に賃貸。東大果樹園跡地も計画もなく購入。来年度から賃貸予定。似たようなパターンではありませんか。風致公園の二の舞は許されません。

跡地活用は二宮の残されたチャンスをつかまえなければいけません。

### ★魅力を秘めた東大果樹園跡地

#### ①レトロで多様な様式の建物群

二宮町の中央に位置し、約三万七千㎡一万一千坪の広大な土地。その中には大正や昭和初期に東京帝国大学が建設した管理舎・果物貯蔵庫・実験室・堆肥舎・生産物加工室・収納舎・屋内作業所・倉庫・学生宿舎等が現存。洋館や和風建築、ドーム、ケーブルカーの発着施設などレトロで多様な様式で多数建物が現存しているのは町の貴重な財産です。

東京帝国大学の威光が垣間見える建物

#### ②現存する多様な果樹や植物、泉

様々な果樹（ぶどう・桃・梨・キウイ・カキ・栗・フェイジョア等）もまだ現存し、その他様々な樹木、泉、野草なども自生しています

今でも元気に育っている果樹

東大果樹園跡地についてもっと知りたい方は、「しお風つうしんブログ」の「東大果樹園跡地再生」コンテンツの記事をご覧ください。
http://shiokaze.hama1.jp/c20633.html

しお風提案

### 住民力の結集で東大果樹園跡地の再生を

### ★町民提案は果樹や建物の活用・地域経済への波及効果を希望

昨年実施された意見募集では三十五件の提案があり、暫定利用も将来構想も果樹園・農園・憩いの場・子どもと遊べる場・防災関係の提案が多く、建物を再生したカフェ、太陽光発電、体験型の観光拠点として発想しているものもありました。

意見応募者は、現況を活かし、子どもから高齢者までが楽しめる自然的・農業的活用を希望し、そこから地域経済への波及効果が見込まれるようにしたいと考えているようです。

### ★町民等の跡地見学機会等を増やし実践的な提案に深めよう

町民等が東大果樹園跡地の現場を実際に見学や調査する機会を増やし、町民の提案が将来ビジョンに基づく戦略的な展開ができる仕組みづくりを始めましょう。

大きな経済成長が望めず社会変化が著しい今だからこそ、町民のまちづくりの力を結集して着実なまちづくりを進める必要があります。

第5次総合計画にも東大果樹園跡地は「新交流ゾーン」と位置付けられ、「社会状況の変化や町民ニーズ、町の公共施設の立地状況も踏まえ、町民参加によって、土地利用や実現方策を暫定的な土地利用も含めて検討します。その際に、町民の「まちづくりの力」による施設利用、民間の活力の活用等多様な実現手法を検討します」と記載されています。

### ★しお風もプランを作成、実践へ

「しお風」主宰者神保は、観光まちづくりプラン「住民力を結集する東大二宮果樹園跡地再生を核とした『まちなか❤遊学文化』が息づくふれあい観光」を作成。その結果、県の「観光まちづくりプロデュサー」に認定されました。

プランの実践に向けて様々な専門家、関係団体、農業者、大学生等に説明し、協力を仰いでいます。

この中には「みやじ豚」のブランド化に成功し、NPO法人「農家のこせがれネットワーク」代表の宮治勇輔さんもいます。将来に向けて様々な助成が得られる農水省の「食のモデル地域構築計画」への応募をすすめてくれました。あまりにも早急でしたので、応募協議会構成員に必要な町職員の参加が町行政に認められませんでした。

今後は、プラン作成時に参考にした年間50万人年商50億円で奇跡の農業テーマパークと言われている「伊賀の里モクモク手作りファーム」社長木村修さんを招いてのフォーラムや専門家の講師よる楽しいワークショップを企画し、跡地再生活動の実践につなげたいと考えています。

## 夏休み親子体験学習参加者募集中！

### ～　湘南みかん青摘み体験新聞づくり　～

夏休みの自由研究にピッタリ!!

ASA二宮、ASA大磯、まちづくり工房「しお風」共催

**8月18日(日)　みかん青摘み体験・写真撮影・簡単クッキング**

**つぐみのおかコモンズ**(二宮町富士見が丘2-6-9)、**中里のみかん畑**

9:30 二宮駅北口集合　9:45～ズッキーの写真教室[すずきフォト]

10:25～里山歩き　10:45～11:40 みかんの青摘み体験　[地元みかん農家さん]

※持ち物　写真撮影用のデジタルカメラ

12:00～13:30　青摘みかん簡単クッキング(青摘みかんちらし寿司等)[京の味　圓山]

**8月24日(土)　青摘みかんをテーマにした新聞づくり**

**つぐみの丘コモンズ**

9:30 二宮駅北口集合　10:00～12:30 青摘み体験新聞づくり

講師　朝日学生新聞社　高橋宏輔さん

※持ち物　プリントアウトした写真、えんぴつ、はさみ、両面テープ、定規

募集対象　二宮町、大磯町にお住まいの小学生親子20組（先着順受付）

参 加 費　親子1組(親子3人以内)1500円(材料費・食材費)

但し親子4人以上での参加の場合は一人ごとに400円加算

問合せ・申込み　ASA二宮 竹原　☎0463-71-1157　「しお風」shiokaze@mj.scn-net.ne.jp

---

**2013自然から学ぶ夏の教室 ネイチャーテクノロジーが未来を創る！** 星槎グループ一般財団法人 世界こども財団

8月22日（木）10:00～15:00　23日（金）10:00～16:00　バス送迎 9:30 大磯駅から送迎

講師 東北大学大学院　石田秀樹先生　参加費 2日間2000円、1日1000円

対象 中高生、教員、一般　申込 ☎0463-71-6046、メール seminar@seisa-mp.jp

---

## 乱開発を防ごう！ 二宮の緑と住環境を守るために。

百合が丘地区長協議会、百合が丘自治会、峠公園・周辺環境を考える会は、六月六日に「百合が丘地区峠公園隣接地の宅地造成計画に関する要望書」を神奈川県、町、建設会社に提出しました。

この土地は神奈川県住宅供給公社が昨年七月に民間業者へ売却したもので、宅地造成計画が緑と住環境そして安全性を損なう懸念があるとして、緑地・景観の保全、安全への配慮を基本とした宅地開発、通学路の確保、雨水処理、下水・生活用水への十二分な配慮等を要望しています。

昨年七月に県公社が、百合が丘地区の未利用地を処分する意向を明らかにし、百合が丘地区住民をはじめ町行政も驚きました。十月に斜面緑地の売却をやめるように要望書を町議会へ提出、これを受け町議会は意見書を県知事に提出しています。

現在、未利用地のうち二、三丁目の斜面地は町が引き取ることで調整が進んでいます。

しかし、既に「八晃建設」に売却されてしまった峠公園隣接地の宅地造成計画(二月に町行政が示した事前協議案)が議会意見書にそぐわないとして作成されました。

### ★宅地造成計画への住民の懸念

傾斜地を北側道路とほぼフラットになるように盛土し、西側を含め全体で合計56区画の宅地造成。

「峠公園・周辺環境を考える会」が宅地造成計画をもとに作成した峠公園バス停付近から見た開発想像図

◇大規模な土盛りのための大型トラック走行による混乱

◇高さ10m以上の巨大コンクリート擁壁がそそり立つ圧迫感

◇北側の交通量が多く、西側の道路が狭いための交通問題

◇住宅が密集して建設されることによる環境の激変

### ★今回の要望書の概要

宅地開発が緑地・景観の保全、街並みとの調和や安全に配慮した最小限の埋め立てで、危険性や圧迫感がなく、隣接公園をはじめとする公益的スペースの整備・拡充に努め、必要に応じ随時説明会の開催するように要望しています。

また、具体的には、通学路の確保、雨水処理、下水・生活用水への十二分な配慮、大規模埋め立てが隣接地を通過する東海道新幹線隧道に与える影響について詳しい説明の要望も。

### ★町の責務として危険な宅地開発は是正すべき

この問題は峠公園周辺住民だけの問題ではありません。三・一一の教訓を真剣に受け止めてほしい。想定外の災害は起こり、現状の法律は完璧ではありません。宅地開発の許認可権は県にありますが、町は意見を添えることができます。現場の実態を知っているのは町です。災害対策法で防災の第一次責務のある町は危険な宅地開発は是正すべきです。

---

## やじうま議会ウォッチング

### 議会は地域経済の活性化を協働で進める検討の場に

町行政はまちづくりのプロ集団。ですから、民間や町民が実施することの問題を指摘して終わるのではなく、民間や町民が地域経済の活性化へ適切に動けるように、助言や情報提供、ＰＲなどの支援をしてほしい。

この観点から3月議会で気になることがありました。それは小笠原議員の一般質問「朝市支援で商業の活性化を」への坂本町長の答弁と4月25日発行の「議会だより」の5ページの「訂正とお詫び」の文末「ラディアン朝市の保健所申請について…誤「申請した」→正「未申請」」と掲載されていたことです。

ラディアン日曜朝市

坂本町長は、「なぜ行政がラディアンの方に(海の朝市と違って)介入できないかというと、保健所に届けをしていないんですよ。だから、我々はどうしようもない。明らかに違法行為をして売っている業者がいるんです。そういうことが整備されないと、町の補助とか応援とか、これはできない。」と答弁しています。

### ★他人事すぎる町長発言の問題点

東京都は「行事における臨時営業等の取扱要綱」に基づいて許可申請制度があり、ＰＲもされていますが、神奈川県では食品衛生法に基づく店の営業許可申請で、行事においての許可申請制度はありません。事前報告を求めていますが、この報告も湘南地区では実際は報告していない団体も多いようです。ラディアン朝市は数年前から事前報告を年度当初に年間まとめて行っています。

朝市のような行事を運営する団体は専従職員もなく、他に仕事や活動をしているメンバーが、様々な問題を抱えながらも地域の人たちに喜んでもらいたいと出店料等で運営費を賄い、続けていることが多い。

行政は地域経済を活性化する一つの方法として、民間の朝市の会と協働することが大切ではないでしょうか。今まで問題があると感じていたならば、議場で問題点を指摘するのだけでなく、情報提供、届け出の指導、協働するための方法まで検討することが協働のまちづくりを実現するには必要でしょう。他人事ではいけません。

### ★期待する議会の役割

同じ3月議会で「二宮町議会基本条例」が全会一致で可決。4月1日に施行され、5月に議会報告会が開催されました。今後の議会に期待がもてる報告会でした。

ぜひ、議会は町の問題を深く掘り下げ、町民の立場から適正な行政運営がなされるように見守り、さらには必要な政策提案を積極的に行いながら、協働のまちづくりを実現させてください。議会の役割に期待しています。

---

東日本大震災復興支援事業

## 「ミネルヴァのふくろうと明日の日本」作品展

「ミネルヴァのふくろうと明日の日本」の挿絵21点展示

**9月8日(日)～29日(日)　大磯町郷土資料館**

入場無料　【休館日】9月9日(月)・17日(火)・24日(火)

**星槎グループ一般財団法人 世界こども財団・学校法人国際学園、大磯町 共催**

外交官出身で文化庁長官に就任した近藤誠一氏が被災地への持続的支援の必要性と、文化芸術の力を活用した復興教育への支援を訴え、同氏に共感した21名のアーチストが挿絵を提供し、この連載を「ミネルヴァのふくろうと明日の日本」という本にまとめました。星槎グループ学校法人国際学園は近藤氏と画家21名の想いに賛同し、21点の作品を購入しました。近藤氏やその思いに賛同する人々により、この本や絵画の収益は被災地で活動する団体への活動資金として寄贈されました。ぜひ、ご覧ください。

---

## しお風のつぶやき

### ★「しお風」をカラー印刷に。

「しお風」を見やすくするために、今回から写真やイラストを多用し、カラー印刷にしました。ご感想をお寄せください。

### ★まちなか♥ほっとスポットご利用ください。

詳細はブログをご覧ください。
http://shiokaze.hama1.jp/c25631.html

屋外で気軽に休憩やおしゃべりができるように、しお風事務所階下の空き店舗前と駐車場の空きスペースを活用して、野草等の寄せ植え、テーブル、椅子などを設置。シャッターには、二宮の魅力を伝える写真パネルなどを掲示しています。ぜひ、ご利用ください。

まちなか♥ほっとスポット

二宮町二宮一九三一-三

「しお風さん」イラスト作成
矢戸優人